

岐阜県可児市の久々利城跡を保存する活動が 都市景観大賞 景観まちづくり活動・教育部門で国土交通大臣賞を受賞

株式会社パロマ（愛知県名古屋市/代表取締役社長執行役員：中島真也）と、元久々利まちづくり委員会、可児市は、都市景観大賞 景観まちづくり活動・教育部門で国土交通大臣賞を受賞しました。

パロマと可児市、元久々利まちづくり委員会は2015年2月に「久々利城跡の整備・活用に関する協定」を締結して以来、樹木の伐採や案内看板の設置、歴史資料館へのジオラマ寄贈など、様々な分野で協力関係を築いて参りました。こうした、行政と地域社会、民間企業とが三位一体となった活動などが評価され同賞の受賞につながりました。



6月14日（金）に、すまい・るホール（東京都文京区）で行われた授賞式では、三者を代表して元久々利まちづくり委員会の奥村勝彦委員長が、石井啓一国土交通大臣から賞状を受け取りました。その後、6月19日（水）には可児市役所で富田成輝可児市長への報告会を行いました。富田市長からは「なかなか受賞できるものではない。全国に1,400もの市町（しまち）が存在する中、これだけ民間（パロマ）が力を入れてくれているのは全国でも珍しいことではないか。これからも今までと変わらず保存活動を続け、ぜひ次の世代にもつなげてください」と激励の言葉が贈られました。



【久々利城跡（可児市）とパロマ】

久々利城跡は岐阜県可児市のパロマが所有権を有する土地にある中世の山城跡です。パロマでは2015年2月に可児市と「久々利城跡の整備・活用に関する協定」を締結、地元の久々利城守隊の方々を中心に進められてきた整備を支援してきました。2018年には久々利城の再現ジオラマ（1/250サイズ）を寄贈し、可児市戦国歴史ミュージアムに展示されています。可児市にはパロマ可児工場もあります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社パロマ 広報室 : 052-824-5251 (直通)

内容は発表時のものです。ご覧になった時点で、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。